

平成 30 年度

第 1 回 運営推進会議 会議録

地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護事業所

平成 30 年 6 月 7 日

社会福祉法人 旭福社会

開催日時 平成 30 年 6 月 7 日 (水) 午前 10 時 00 分開会

平成 30 年 6 月 7 日 (水) 午前 10 時 45 分閉会

開催場所 あさひ園 会議室

出席者 入居者代表 欠席
入居者家族代表 1 名
地域住民代表 2 名 (行政相談員)、(老人クラブ会長)
市職員 1 名 (市職員)
施設役員 1 名 (施設長)
施設職員 1 名 (事務職員)

欠席者 (入居者代表 1 名、入居者家族代表 1 名、民生児童委員 1 名)

1、開会挨拶

施設：今年度第 1 回目の開催となりました。この運営推進会議の主な内容の説明をさせていただきます。(会議内容の説明を行う)。それではよろしくお願いたします。

2、運営推進委員紹介

施設：平成 29 年 11 月からの委員を紹介させていただきます。(議題に入る前に各委員の紹介と本日欠席者の説明を行う。)尚、任期につきましては平成 29 年 11 月 1 日から 2 年間となります。

3、議 題

施設：以下のことについて報告を行う。

①利用状況、職員配置、活動報告、事故等の報告 (1 月～5 月)

1、平成 30 年度 地域密着特養ケア目標

- ① 24 時間シートの活用を徹底し、優先的な課題とケアの具体的な内容を明らかにするとともに、入居者個々の状況変化を把握しケアプランに反映させます。
- ② 生活歴・価値観等を理解した上でなじみの関係・なじみの空間づくりを行い、穏やかで心地よい環境を提供します。
- ③ 認知症の基本を理解し BPSD (行動・心理症状) を「ニーズ」の表れ、サインととらえ症状の緩和に努めます。
- ④ 地域での認知症ケアの拠点作りおよび認知症の人と家族、地域住民、専門職等が集える場を検討し、地域と一体となった福祉サービスの展開を目指します。

2、入居者情報 (平成 30 年 5 月末現在)

- ・男性 5 名 女性 1 5 名
- ・旭町 13 浜田市 4 江津市 2 金城町 1
- ・平均年齢 88.4 歳 (前回 89.9 歳)
- ・平均介護度 4.25 (前回 4.32)

- ・日常生活自立度 Ⅲ（日常生活に支障をきたし介護を必要とする）以上 16名
- ・普通食 3名（内糖尿食 1名、心臓食 1名） 中刻み食 2名 小刻み食 6名（内糖尿食 1名） 極小刻み食 2名 ミキサー食 6名（内糖尿食 1名） 胃瘻 1名

3、職員状況（平成 30 年 5 月末現在）

【太陽】

- ・介護職員 7名（常勤 3名、嘱託 1名、パート 3名）

【もみじ】

- ・介護職員 8名（常勤 5名、嘱託 1名、パート 2名）

地域密着介護職員常勤換算 1.54人

【看護】

- ・兼務職員 5名（看護師 1名、准看護師 2名、パート 2名）

4、活動（1月～5月）

入居者にとって居心地の良い環境作り、個々のケアプランに合わせてのケアの実施。

天気の良い日は園外の散歩

5、行事（1月～5月）

- ・法話会 1回／月、喫茶会 2回／月、各クラブ 1回／月、体重測定 1回／月
ベッド、車椅子点検 1回／月
- ・1/11（木）新年会、2/3（土）節分祭、3/3（土）雛祭会、4/18、19、20、イチゴ狩り

6、事故報告（1月～5月） 合計 14件

- ・表皮剥離 2件…内出血部から出血していた
- ・ずり落ち 7件…自席からずり落ち、ベッドから布団とともにずり落ち
- ・転倒 1件…居室でPトイレ使用后倒れていた
- ・異食行為 1件…綿花を口にされていた
- ・座り込み 1件…車椅子に座ろうとされ、そのまま床に座わられた様子
- ・誤嚥 1件…昼食時自力摂取中むせられる、ナース対応される
利用者同士トラブル 1件…立ち止まっている方の背中を押される

7、ヒヤリハット報告（1月～5月） 合計 22件

- ・他の方の主食を手にとられる
- ・センサーマットのスイッチが入っていなかった
- ・テーブルの下に落ちたものを取ろうとされる
- ・石鹸ポンプを押して泡だらけになっている
- ・夕の薬箱の中に昼の漢方薬が入っていた
- ・他の方の湯呑を手にとられていた

- ・クリーニングから帰ってきたクッションにタグが付いていたままだった
- ・開封されていない注射器がベッドにあった
- ・エプロン用のハンガーラックに躓く

8、外出支援（1月～5月）

- ・いちご狩り・園の周りの散歩

②入居者、ご家族の声等の報告（1月～5月）

- ・なかなか心を開かないと思いますが、お願いします。
- ・手足のまひが少しでも和らぎこれ以上悪化しない様に願っております。顔色も良くなっており安心してしています。
- ・職員の方で出来ない事を手伝っていただき感謝しています。季節ごとのイベント大変でしょうが、これからもお願いします。
- ・介護者の方にはきめ細かな介護をしていただき感謝しています。
- ・母も83歳を過ぎますますます手がかかると思いますが、よろしくお願いします。体調の変化等あればご連絡ください。
- ・仕事が忙しく足を運ぶことが出来ませんが一日でも長い存命を願っています。
- ・面会の度に衰えていくのを感じます。もう家に帰れることはないと思います。残り少ない年月をしっかりと生きて行って欲しいこれだけです。わがままな人ですがこれからもよろしくお願いします。

施設：本日お配りした別添資料を御覧ください。入居者様の様子を写真にて紹介したものです。（1月から5月に行われた行事等の様子を紹介する。）

③意見交換

家族：先日行われた浜田市総合防災訓練には参加されたのですか。

施設：あさひ園は参加していません。あさひ園では毎年2回の消防・防災訓練を必ず行っています。あさひ園は立地条件として周辺に川や山がないので土砂災害はほぼありえませんが可能性としては風雪害と火災ですが、火災については高齢者福祉施設として防火扉やスプリンクラー、火災自動通報装置など消防法の厳しい基準をきちんとクリアーしています。万が一の非常時に問題となるのが職員の少ない夜間ですが訓練は基本的にそういった夜間を想定して行っています。またお隣りのやすらぎの郷に応援要請できる体制となっています。また和田地区の自主防災会とも連携できるように調整中です。前々回の訓練時には見学に来られています。

家族：正直なところ自主防災会は機能していないのでは。休みの職員などへの応援体制はどうなっていますか

施設：まずは自動通報装置により消防署の他にやすらぎの郷や役場、主要職員へ連絡が入ります。そこから緊急時連絡網により休みの職員にも連絡するようになっています。第一

次避難場所は道路向かいにあるあさひふれあいプラザです。

家族：向かい側にあるやすらぎの家はどうしていますか。

施設：やすらぎの家には職員が在中していません。基本的には自立の方が生活されているので緊急時には消火より窓等から外へ逃げるようお願いしてあります。またやすらぎの家にも自動通報装置がありその連絡先はあさひ園となっています。その他大規模災害のさいはあさひ園での受け入れもあります。

家族：そういった災害時の食料についてはどうですか。

施設：施設には2日分の備蓄あります。当園の厨房は日清医療食品との業務委託で行っていますが、非常時には日清医療食品側がヘリコプターをチャーターしてでも食材を届けると言っています。

家族：水の方はどうですか。

施設：トイレなどはしばらくの間大丈夫ですが、そうなったときには市からの配給を待つこととなります。

家族：近隣に住んでいる利用者家族にも応援依頼できると良いと思います。

施設：この施設周辺の住民の方とも連携していけたらと考えています。金城町の施設では実際に施設の隣で火災が発生したといったこともあり、金城町では応援や受け入れ体制といった連携・協定ができています。今浜田圏域の高齢者福祉施設同士で連携がとれるよう協議中です。ただし先ほども言いましたが当施設は防災、特に火災には消火器や消火放水栓を始め、壁やカーテン、網戸に至るまで防災のつくりとなっていますし、毎年消防の立入り調査もうけていて消防法をきちんとクリアしており火災に強い構造となっています。基本的に当園の利用者を他で受け入れていただくことはないと思いますが当園への受け入れはある可能性があります。(7名まで可能)

家族：長寿苑は養護なので連携はないのですか。

施設：老人福祉施設協議会として同じエリアなので連携の協議中です。

行政：現在、災害時に一般の方は保健センターや公民館が避難場所となっていますが、こういった施設にもご協力願えればということで協議中です。ただし受け入れていただいたときの物資や食料などの問題もあります。また物資の輸送に使われる高速道路が民営化により大雨などでの通行止めが増えて交通が遮断されるといった心配もあります。

家族：備蓄もあればいいと言ったわけではなく管理、更新が大変です。

施設：当園でも備蓄は期限前には使用して新たに備蓄して更新しています。問題は水と電気です。

家族：あさひ園は停電時に医療機器などは大丈夫ですか。

施設：在宅酸素の機械以外は電気を使用するものはないので大丈夫です。

行政：冷暖房、特に冬期の暖房ですね。2月に町内で停電が発生した際に今は電気ファンヒーターが主流なため停電時には使えず、電気を使わないストーブを探すのに苦労しました。

施設：当園のエアコン設備も老朽化していて、冬に故障した際にはブルーファンヒーター2台で対応しています。

家族：この施設周辺は冬期の凍結も心配です。大雨は大丈夫かと思えます。

施設：段々と平均介護度が上がってきています。本来ユニット型は比較的介護度の低い方の生活の場ですが今は広域型よりも高い状況です。寝たきりの方も多くおられるし全個室のため目も届きにくいとリスクも有り、センサーなどで対応しています。

家族：家族としては本当にみていただいて助かっています。

施設：当園の担当医も大変良くみてくださっています。ただし、突然立ち上がったり転んだり日頃から防げる事故は防ごうと心がけて行っていますがどうしても事故は起こってしまいます。

家族：身体拘束するわけにもいかないですからね。

施設：緊急時には手順に沿って出来ることとなっていますが、当園では行わないと指導しています。

地域：職員の数についてはどうですか。

施設：体調のわるい職員が休まれたり、小さい子どものいる職員で早退されたりも多く、人数的には充足していますが勤務時間に偏りがあり夜勤を組むのに通常4回ぐらいのところ6回7回となったりし一部に負担がかかっています。現在正職員の平均年齢は46歳程度ですがパート職員も含めると平均が52歳となっていて、介助で抱えたり入浴介助等も大変な場合もあります。できればもう少し夜勤勤務が適正な配置が出来れと考えます。

次回開催予定日及び議題

- ①予 定 日 平成30年9月中に開催予定とする。
- ②予定議題 ・平成30年6月からの活動報告、事故等の報告
・運営に関する意見交換

5、その他

施設：会議においての議事録は個人情報伏せた上であさひ園ホームページ上に公開させて頂いていますのでご了承、ご確認ください。

6、閉会挨拶 施設より